

報告 I

CKD

事業開始以降、透析にかかる医療費が減少！

今年度で本事業を開始して7年目を迎えました。日々診療を行っている先生方のご協力と事業の継続に伴い、医療費の抑制効果が徐々に表れてきております。下の図は、国保医療費に占める透析の割合を経年比較したグラフで、事業開始前、うるま市・沖縄市ともに9%台でしたが、令和4年度はうるま市7.4%、沖縄市4.4%と、両市ともに透析の医療費割合が事業開始前と比較して減少しておりました。

実費用においても、事業開始前の平成28年度、透析にかかる医療費は両市併せて約20億円でしたが、令和4年度は約13億円となっております。

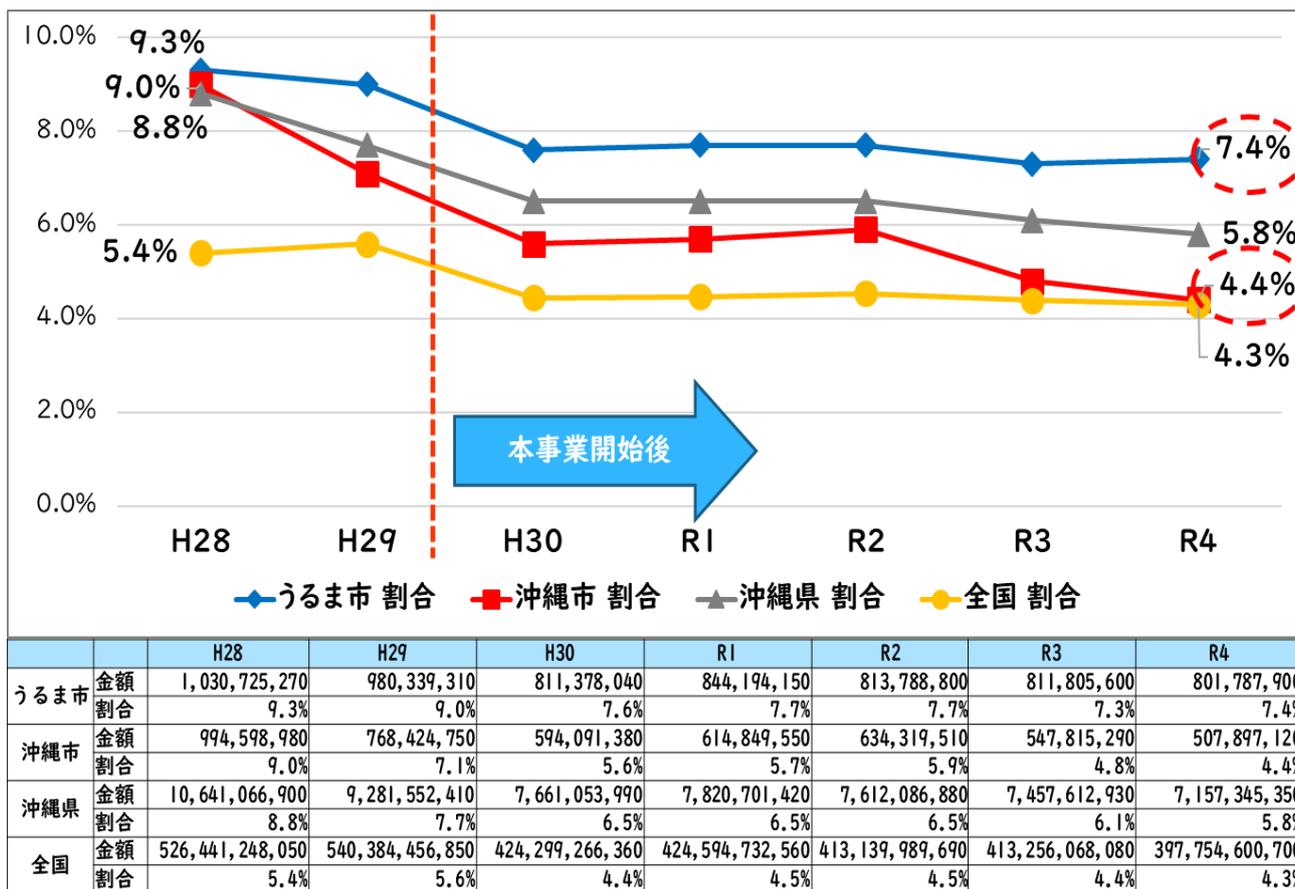


図1. 国民健康保険の医療費に占める透析の割合 (年次推移)

出典：国保データベースシステム, H30～R3年度医療費分析 (2) 大 中 細小分類より作成

こうした成果は本事業にご登録いただいている先生方のご尽力の賜物だと感じております。

日頃より市民へのCKD診療にご尽力いただき、大変ありがとうございます。また、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

評価委員会より、先生方へご協力をお願い

尿検査のルーチン化に向けて

中頭病院のCKDハイリスク患者の実態把握より、透析導入のハイリスク者は院内（腎臓内科以外の科）に多数いることが明らかになりました。先生方が日頃、腎疾患以外で御診療されている患者様の中にも透析導入のハイリスク者が潜んでいるかもしれません。

こうした“隠れハイリスク者”を把握するためにも、評価委員会としましては尿検査をルーチン化していただき、CKD登録医と腎臓診療医の連携のもと、CKDの重症化予防に取り組んでいただきたく考えております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

金城 一志 先生 (CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進評価委員会 副委員長)

「院内の透析ハイリスク患者の68%が、腎臓内科の目に留まっていないことが分かった。」

今後の目標：かかりつけ医、基幹病院にて尿検査をルーチン化

令和4年8月9日、4者事業報告会より一部抜粋

表1. 本事業における腎臓診療医への紹介基準

| eGFR値による紹介基準 | | *eGFR値=ml/min/1.73m ² |
|--------------|-------------------------|----------------------------------|
| ① | 40歳未満 | 60未満 |
| ② | 40歳以上 | 45未満ただし尿蛋白±であれば60未満 |
| ③ | 3ヶ月以内に、30%以上のeGFRの低下 | |
| 蛋白尿による紹介基準 | | |
| ④ | 尿蛋白+以上、または尿蛋白/尿Cr比0.5以上 | |
| ⑤ | 尿蛋白±と血尿が陽性(+以上) | |

腎臓診療医へ患者様をご紹介する際の基準は、左記の表をご参考にしていただければと存じます。



特定健診受診率向上に向けて

令和4年度、特定健診受診率がうるま市28.9%、沖縄市31.0%でした。これは県内11市の中でも低い割合であり、特にうるま市は県内最下位となっております。

こうした状況もあり、CKDハイリスク者の早期発見のためにも、健診受診率の向上が両市ともに喫緊の課題となっております。

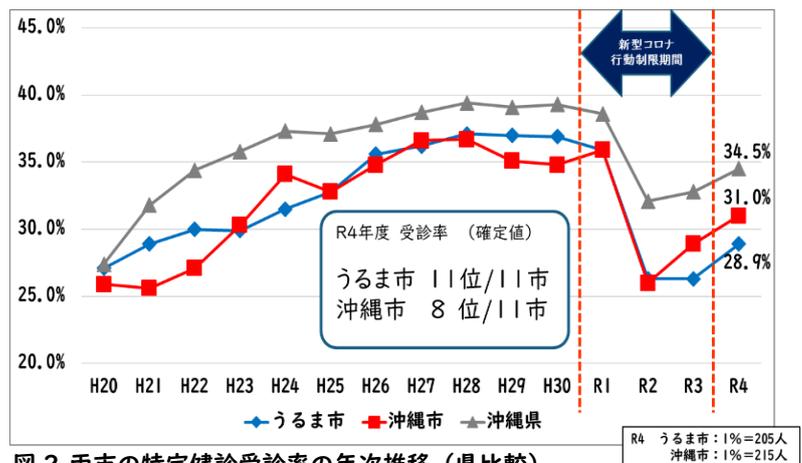


図2. 両市の特定健診受診率の年次推移 (県比較)

出典：国保連合会、令和4年度特定健診受診率 (確定値)

先生方におかれましては、通院患者様へ年1回の健診受診を促していただきますようお願いいたします。また、医療機関での個別健診も推進しておりますので、ご協力いただける医療機関は両市の問い合わせ先 (最終ページに記載) までご連絡ください。

報告 3
CKD

登録医数及び医療機関数の更新状況について

令和 5 年 10 月時点

本事業にご登録いただいている先生は、CKD 登録医 54 名と腎臓診療医 12 名、合計 66 名の医師と 34 力所の医療機関にご登録いただいております。

●登録医及び登録医療機関数

内訳 (人)

| | |
|--------|----|
| CKD登録医 | 54 |
| 腎臓診療医 | 12 |
| 計 | 66 |



登録医療機関
34 機関

新たに 2 名の先生がご登録！

●新規 登録医療機関

いしはらクリニック (うるま市)
さくもと内科クリニック (うるま市)

●新規 CKD 登録医

石原 興平 先生 (いしはらクリニック)
佐久本 高達 先生 (さくもと内科クリニック)

また、今年度の 8 月、新たに 2 名の先生が本事業にご登録いたしました。病診連携の体制強化に向けて、今後ともお力添えをいただければと存じます。

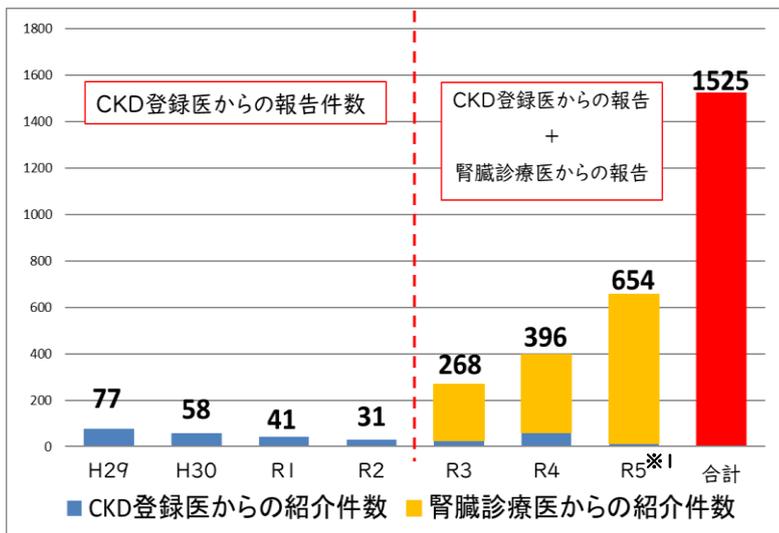
報告 4
CKD

CKD登録医から腎臓診療医への紹介件数

令和 5 年 10 月更新

FAX 連絡票 (様式第 2 号) を活用した、CKD 登録医から腎臓診療医への紹介件数は、平成 29 年度からの累計で 1525 件となっています。

●年度別紹介件数



※1 令和 5 年度の件数は令和 5 年 10 月 26 日時点の実績

●医療機関別紹介件数 (累計)

| | 腎臓診療医 在籍医療機関 | |
|---|---------------|--------|
| | 病院 | 計 |
| ① | 中部病院 | 994 |
| ② | 中頭病院 | 492 |
| ③ | すながわ内科 | 13 |
| ④ | 安立医院 | 4 |
| ⑤ | しおひら内科・腎クリニック | 15 |
| 計 | | 1525※2 |

※2 本事業に未登録の医療機関への紹介件数 7 件を含む

着実に CKD 登録医と腎臓診療医の連携体制が強化されている状況が伺えました。ご多忙な中、紹介件数のご報告にご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

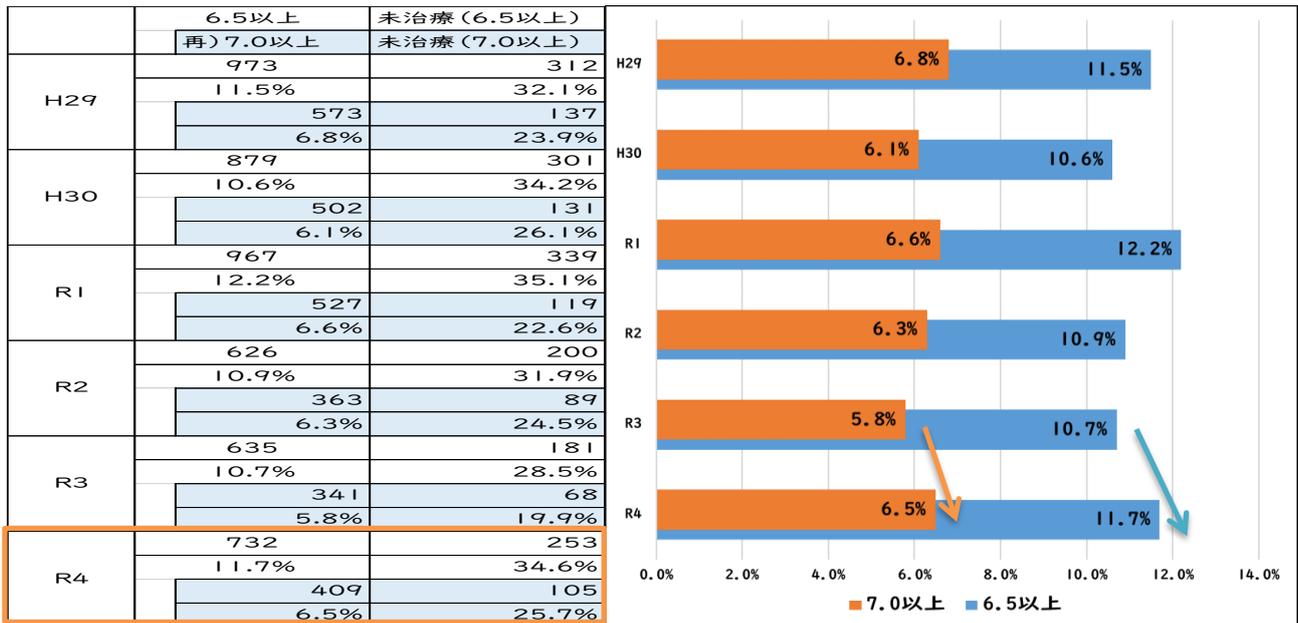


【HbA1c値有所見状況】

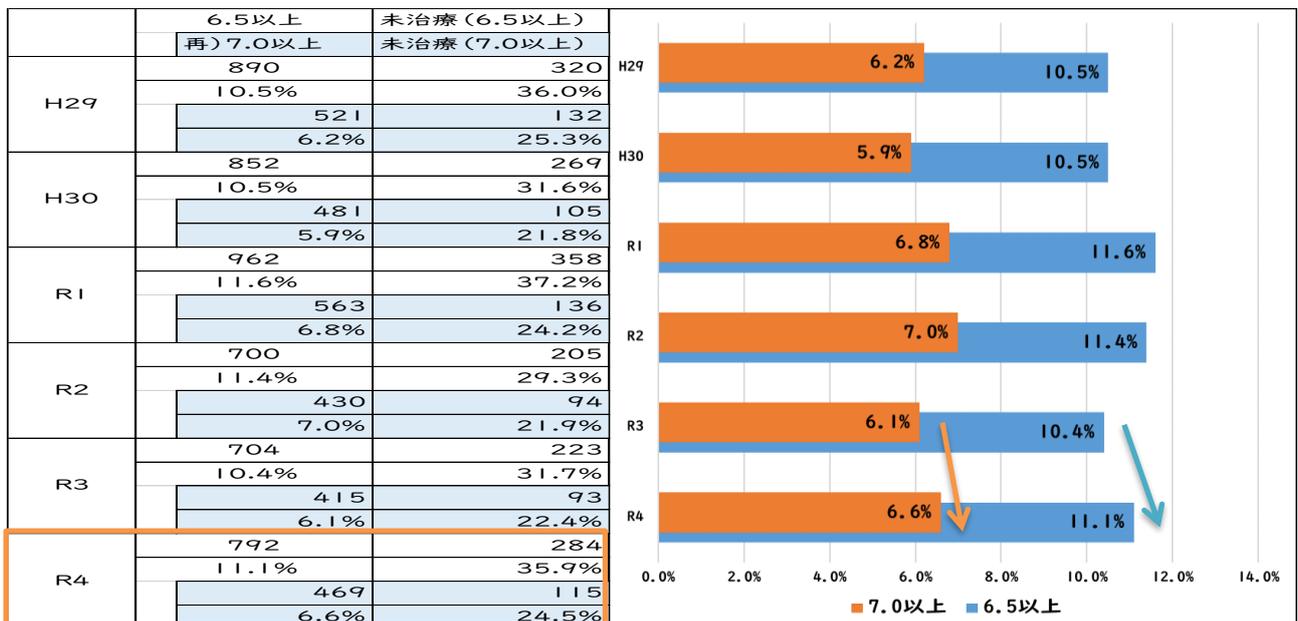
R4 年度はうるま市・沖縄市ともに HbA1c6.5%以上の方が増加傾向となっております。

両市内に高血糖の方が多くいらっしゃる現状は継続しており、課題解決に向けて、一層の健診受診率・精査受診率の向上に向けた取り組みの強化、また医療機関との連携を推進していく必要性がうかがえました。

HbA1c6.5%以上の方の状況（うるま市）



HbA1c6.5%以上の方の状況（沖縄市）



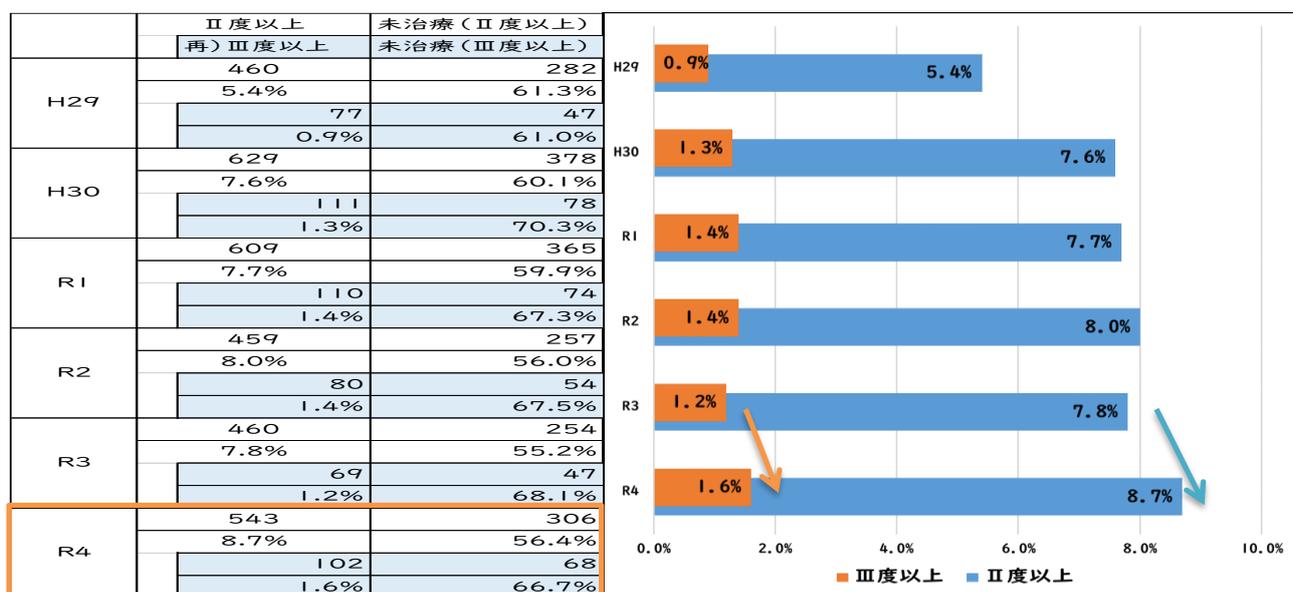
【血圧有所見状況】

Ⅱ度高血圧以上の対象者については、うるま市では昨年度と比べて大幅に増加しており、平成29年度以降で最も高い割合となっております。沖縄市では令和元年度まで増加傾向でしたが、以降は減少しております。

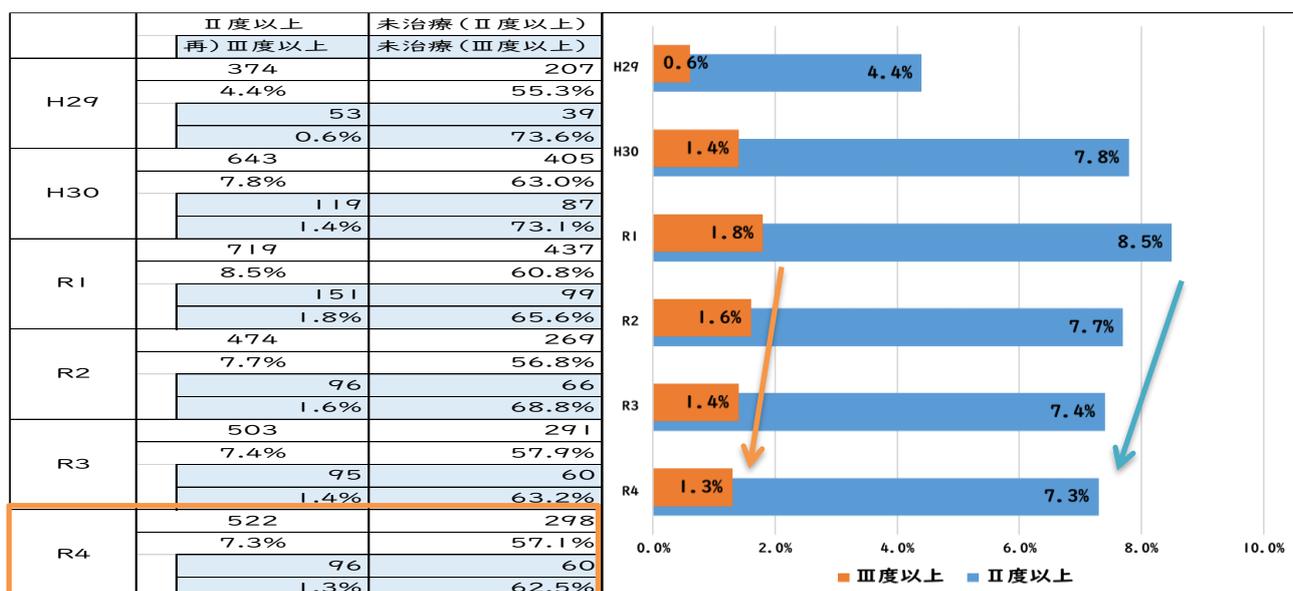
うるま市においては、高血圧を起因とする心疾患や腎疾患等による死亡比（全国を100とした場合）が男性で216となっております。高血圧対策は大変重要な課題となっております。

自治体としましては、課題解決に向けて健診未受診者や治療中断者への受診勧奨、家庭血圧測定の推奨や血圧手帳の普及に取り組んで参ります。

Ⅱ度高血圧以上の方の状況（うるま市）



Ⅱ度高血圧以上の方の状況（沖縄市）



7/25

開催

●第1回コメディカル向け研修会 (沖縄市役所より Zoom 配信)



中部地区薬剤師会 薬剤師
内嶺 陽平 様

今回は、中部地区薬剤師会より薬剤師の内嶺 陽平様をお招きし、「患者さんとかかりつけ医をお薬で紡ぐ地域の薬剤師について」をテーマに、地域でご尽力されている薬剤師の働きやエンパワメントの重要性についてご教示いただきました。

医療機関 2名、薬局 3名、行政 18名、協会けんぽ 1名、その他 3名の計 27名が参加しました。

～参加者の感想～

・薬剤師さんの存在が身近に感じ、これからはもっと相談していこうと思いました。

8/17

開催

●病診連携推進・評価委員会 (うるみん+Zoom ハイブリッド開催)

今年度 第1回目の病診連携推進・評価委員会を8月17日(木)にハイブリッド方式で開催いたしました。

事業経過や事業評価について報告し、評価委員の先生方から今後の活動に対するご助言をいただきました。

主な議題としては、健診での推定塩分量検査の対象年齢や特定健診受診率向上への取り組み、新規登録医療機関の拡充に向けた取り組み等について話し合い、活発な意見交換が交わされました。



会場の様子 (うるま市健康福祉センター うるみん)

9/21

開催

●登録説明会 特別講演会 (中部地区医師会館より Zoom 配信)



中部病院 腎臓内科 古閑 和生 先生 (写真右側)

今年度は、特別講演として中部病院の古閑和生先生より「CKD 進展抑制を見据えた多角的アプローチ」をテーマにご講演いただき、CKD 診療における基本的な考え方について症例を交えながらご教示いただきました。

医師：15名、薬剤師：2名、看護職：19名、事務職：1名、その他：5名の合計 50名が参加しました。

こちらは後日、アーカイブで視聴可能にする予定です。

～参加者の感想～

・CKDの新たな治療法などを教えていただき、とても興味深かったです。

うるま市・沖縄市 共同開催

●市民公開講座 ～耳ぐすい 健康のはなし～

11/11

開催

今年度、4年ぶりに来場型での市民公開講座を開催いたしました。

今回はしゅくみね内科の祝嶺千明先生を講師にお招きし、生活習慣病の改善に役立つ“耳ぐすい”な情報をお届けいたしました。

100名以上の方にご参加いただき、多くの皆様からご好評をいただきました。



しゅくみね内科 院長 祝嶺 千明 先生

～参加者の声(一部抜粋)～

- ・とても勉強になりました。健診がいかに大事な事がよくわかりました。
- ・中々こういったことを学ぶ機会がないので、とてもよかったです。ぜひ来年も聞きたいです。
- ・命ぐすいになりました! 今日の話を経後の自己管理にしっかり役立てて行きたいと思います。
- ・周りの人の健康もこれからは考えようと思いました。正しく知ることが大切だと感じました。



市民公開講座 会場の様子



講座の参加者 50名に野菜 350g を配布

また、市民公開講座と同日、健康フェスタも開催いたしました。体験型のブースを多く設け、味覚チェック体験や体力測定など、多くの市民が各ブースを楽しみながら健康に一層の関心を寄せている姿が見られました。



会場にて世界糖尿病デーの普及啓発ポスターを掲示



味覚チェック体験ブースの様子

12月

開催

今年度も登録医間の連携強化に向けて、うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議（以下、症例検討会）を開催いたします。基幹病院での症例について検討し、日常診療の知見を深める貴重な機会となっております。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

今年度も
開催いたします！

症例検討会の開催について (Zoom配信)



日時 12月 21日(木) 19時15分～21時

内容 1) CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医事業
ちゅらま～みプロジェクト 事業報告
うるま市役所健康支援課

2) 症例検討会

[座長] すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

[症例報告] 中頭病院 腎臓内科 與那嶺 怜奈 先生

県立中部病院 腎臓内科 耒田 善彦 先生



←申し込み用二次元コード
こちらから是非お申し込みください。

※申し込み期限を **12月17日(日)** までに
延長しております。

うるま市健康支援課 担当：浜端、山内、宮城

TEL：(098) 973-3209 [8：30～17：15 対応 (土日・祝 除く)]



お問い合わせ・ご意見などありましたら、お気軽にご連絡下さい。

●うるま市 健康支援課

TEL：(098) 973-3209

FAX：(098) 974-4040

●沖縄市 市民健康課

TEL：(098) 939-1212

(内線 2262)